おやこつうしん

岐阜市子ども・若者総合支援センター
エールぎふ　親子教室（２歳児）
令和３年６月

トイレットトレーニングを始めるのによい暖かい季節になりました。今回は、あわせて取り組んでいくとよいズボンの着脱について、お伝えしていきます。ズボンの着脱をする時は、安定した姿勢と、ズボンを手で引っ張り、同時に足を伸ばす協調動作が必要になります。また、ズボンをしっかり握るために手のひらで体重を支えたり、強くにぎったり、そっとにぎったりする動作の経験が必要になります。

子どもが「楽しい」「やってみよう」と思えるように、身近なものを使ったり、少し遊びの要素を取り入れたりして、親子で楽しみながら取り組んでみてはいかがでしょうか。

大人と一緒に遊びながら
ズボンをはくための動きを身に着けてみよう

ステップ１ ⇒腹巻きを手でつかんで、上に引っ張ってみよう。

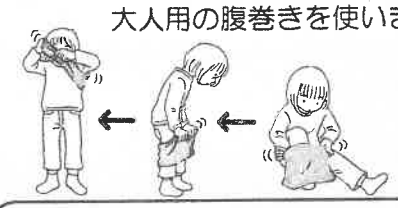
大人用の腹巻きを使います。

♪いもむしトンネルごっこ♪

①「にょきにょき、くねくね、もぞもぞ」と音をつけながら身体を通していきます。

②顔を通るときに、「いない、いない、ばぁ。」と言ったり、顔を出したときに、「やった！！」と言ったりすると、楽しくなると思います。

腹巻きを頭から脱ぐ動きは、上着の着脱にもつながります。



☆やる気アップのコツ☆

最初は腹巻きをスムーズに動かせるよう、大人が一緒に持ってあげましょう。

ステップ２ ⇒ 全身のバランスをとり、片足をあげて通してみよう。

新聞紙などで作った輪っかを使います。

♪忍者輪っか通し修行ごっこ♪

①座りながら忍者になった気分で、「そろーり、そろーり」とゆっくり足を通します。

②倒れずに膝まで通せたら「かっこいい忍者です！」子どものやる気を引き出して、反対の足も通してみましょう。意外と利き足はスムーズ。でも、反対の足は難しいですよ。慣れてきたら、立って通すこともチャレンジしてみましょう。

☆やる気アップのコツ☆

バランスが安定しないうちは、大人が後ろから身体を支えたり、輪っかを一緒に持ったりしてあげましょう。

ステップ３ ⇒ 大人の膝の上に座って、ズボンをはいてみよう。

①大人は子どもの手を添え、一緒にウエストのゴムを持ちます。そうすると、ズボンをはくことに意識が向きます。

②片足ずつ足を入れます。

③立ち上がり、一緒にズボンを引き上げます。

☆やる気アップのコツ☆

- ズボンは柔らかい素材で、ウエストがゴムの物を選ぼう。
- おしりの部分がひっかかり引き上げにくいので、手を後ろに回し、後ろにも意識がいくように、声をかけてみましょう。

「じょうずだね」「すごいね」など、たくさん褒めてあげることが、子どものやる気に繋がります。